

石淵ダム 18年ぶりの大渇水にそなえて渇水調整

石淵ダム(北上川水系胆沢川)は、ダム下流の農家 6,800人、面積8,500haに、かんがい用水を供給しております。

石淵ダムの流況は、降水量が少なく流入量が減少しております。
このまま日照りが続きますと、**18年ぶりの大渇水となる可能性があります。**

そのため、本日からのかんがい用水の取水取り止めで、ダム容量を節約しております。この水を活かして、最も水が必要な「出穂を間近に迎える時期(これを“穂ばらみ期”と言います。)」を乗り越える予定です。

これは、8月8日(水)の石淵ダム渇水調整会で決まりました。

また、かんがい用水の取水停止は、8月10日(金)9時から4日間とします。
そして、8月14日(水)9時から8月16日(木)9時まで水供給する予定です。

なお、現在建設中の胆沢ダムが完成すると、今回と同等の渇水は、難なく乗り切ることができ
ます。

発表記者会:岩手県政記者クラブ、奥州市政記者クラブ

(問い合わせ先)
国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所
技術副所長 尾形 清
TEL 019-643-7971
石淵ダム管理支所長 荒澤 慎一
TEL 0197-49-2211

胆沢平野土地改良区
水利整備第一課 千葉 英宏
TEL 0197-24-0171

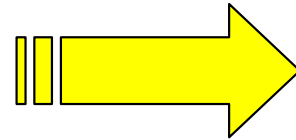
北上川ダム統合管理事務所ホームページアドレス
<http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

石淵ダム渇水状況

石淵ダム貯水池の状況



8月1日16時頃撮影 貯水位309.9m



8月10日9時頃撮影 貯水位302.7m



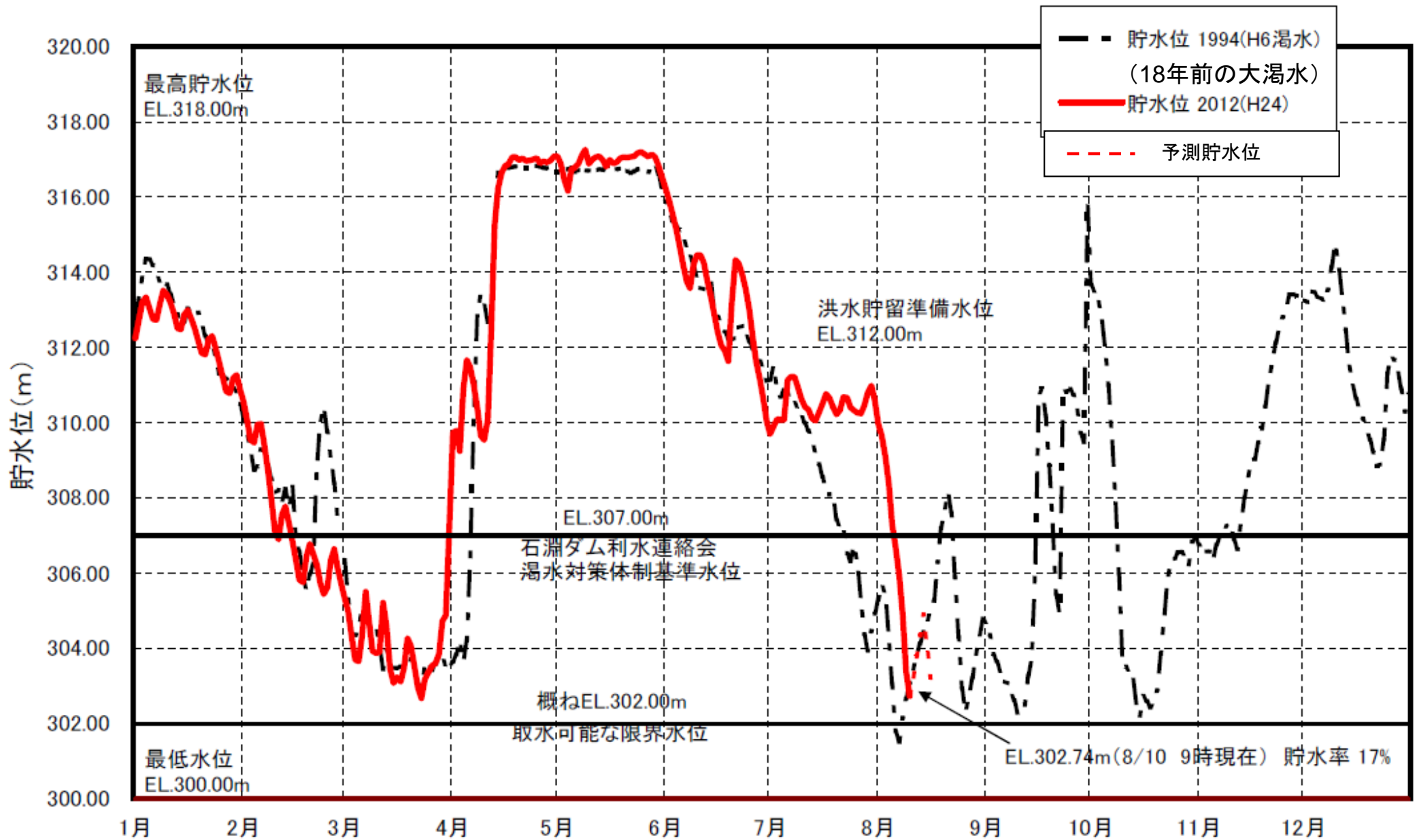
平成6年8月の渇水状況
(18年前の大渇水)

貯水池や流況の状況把握に努めています



石淵ダム湧水状況

石淵ダム貯水位曲線 (8月10日9時現在)



胆沢ダムができると……渇水への効果

石淵ダムの利水容量は約640万m³ですが、胆沢ダムが完成すると約8,100万m³となり、今回と同様規模の渇水が発生した場合でも、**より安定的な供給が可能**になります。

洪水期における貯水池容量配分図

